

令和元年12月3日

報道関係者 各位

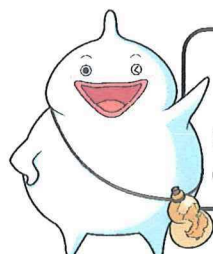
松平文庫の発見者 田中道雄氏が 昭和35年の松平文庫を語る！

島原図書館郷土史を学ぼう会・第215回市民文化講座
「松平文庫の思い出」の開催について

表題の件につき、下記のとおり実施しますので、お知らせします。

記

1. 名称 島原城築城400年記念事業協賛事業
島原図書館郷土史を学ぼう会・第215回市民文化講座「松平文庫の思い出」
2. 日時 12月14日(土)午後2時
3. 場所 森岳公民館 大ホール
4. 講師 田中 道雄 氏 (佐賀大学名誉教授)
5. 参加費 無料(申込み不要)
6. 内容 昭和35年に松平文庫を発見し、その後の調査にも携わられた田中道雄氏に松平文庫の発見や調査の話、国文学の魅力についてお話いただく講演会です。
7. 添付資料 ①講演会チラシ ②「肥前島原松平文庫目録」より抜粋資料
③講師プロフィール ④郷土史を学ぼう会及び市民文化講座の概要
⑤肥前島原松平文庫パンフレット



島原守護神 しまばらん

【担当から一言】

当時、九州大学大学院生だった田中道雄氏による「発見」がなければ、現在の松平文庫はありません。市民が知らない松平文庫の歴史を、国文学の第一人者が語ります！

担当：島原市教育委員会社会教育課 歴史・文化班
担当 林田 智恵
電話：68-5473
E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原城築城400年記念事業協賛事業

島原図書館郷土史を学ぼう会・第215回市民文化講座

松平文庫の思い出

佐賀大学 名誉教授

田中道雄氏

Tanaka

Michio



調査時の風景
(島原新聞昭和35年10月9日号)

今こそ知るべき 松平文庫発見秘話

昭和35年8月、九州大学の大学院生田中さんが来島しました。そして、島原公民館に所蔵されていた古典籍群をみて、その貴重性に気がつきました。その後、九州大学などの大学の調査を経て、目録が刊行。この古典籍群は「肥前島原松平文庫」として学界に認知されるようになりました。

今回は、昭和35年に松平文庫を発見し、その後の調査にも携わられた田中道雄氏に松平文庫の発見や調査の話、国文学の魅力についてお話いただく貴重な講演会です。

日時：2019年12月14日(土)14:00～

会場：森岳公民館 大ホール

問い合わせ：島原市教育委員会 社会教育課 ☎0957-68-5473

主催：島原市教育委員会・島原図書館・島原文化連盟

松平文庫目録より抜粋

序

文

寛文九年松平忠房は深溝松平氏累代の忠節とその奮励啓勸により、異敵の抜擢によって我が島原城主（七万石）に封ぜられた。島原藩政の礎を築いたのは実にこの忠房公であった。

その封に就くや、伊勢の人 伊藤栄治を聘して国学を学び日本紀・源氏物語等の国言を諳せしめ、老臣以下諸士にも聴諭せしめるなど後世藩校の源を作ったのであった。又多くの和漢の書籍を蒐集して「尚舎源忠房文庫」を創設し、広く家臣にも開放して文武両道のかなめとしたのである。

その後松平家は第五代忠愍から二十五年間宇都宮に移封されたが、第六代忠恕が再び島原に來り、その統治は明治維新まで前後十二代に及んでいる。その間、これらの蔵書が幾多の人材を養出せしめるに役立ったことは史実によって知られるところである。しかも第七代忠縁は忠房の遺志を繼承し、寛政五年藩校稽古館（全九州二十八校の一つ）を開設するに當り、江戸藩邸詰の学者川北温山を招いて教授となし、これらの蔵書を教科書として藩学の基礎を樹立した。

廢藩置縣後、明治七八年に島原城は大蔵省の指令により崩されたが、蔵書一万余冊は「松平文庫」と銘打たれ、そのまま城西の一隅松平家管理事務所に保管されていた。然るに大東亜戦後において事務所を閉鎖されるに至った時、藩士の出であった林銑吉・大岡正浩の両氏及び松平藩菩提寺瑞雲山本光禪寺住職片山仙定氏等の奔走により、東京在住松平家はこれを永く蔵して以て後学の資となすため島原公民館図書部に寄贈の中し出があった。当時の島原市長中岡秀蔵

氏は深く感謝してこれを受納し、次の市長奥平広敏氏（旧藩二番家老の家）に引継いだ。

当時の島原公民館長林銑吉氏は該文庫を島原公民館図書部に移して管理し、次代本田館長及び現松永館長は鋭意蔵書の保存管理に力を尽くし今日に至った。

たまたま昭和二十五年八月長崎県立図書館長 森永種夫氏の紹介により、九州大学大学院学生田中道雄君が來館し、松平文庫の貴重なる文献であることに着目し、直ちに母校九大国文科 中村幸彦教授に報告せられた。これが契機となり松平文庫は専門学者の手によって本格的な調査が進められ、約一ヶ年の歳月を要してようやく本年七月分類を完了し、遂に本目録作成に至ったのである。

今まで公民館の一隅に眠っていた松平文庫が今や学界の注目を浴びて日の目を見るに至ったことを心から喜ぶと共に、調査分類に当られた九州大学中村幸彦教授をはじめ、同大学今井源衛助教授・佐賀大学島津忠夫講師・熊本大学野口元大助教授・福岡女子大学松田修助教授その他関係学生諸君の献身的御尽力に対し、深い感謝と深甚の敬意を表する次第である。

昭和二十六年十月

島原市教育長

生駒大五郎

田中 道雄（佐賀大学名誉教授）先生のプロフィール

1932年ソウル生まれ。佐賀大学文理学部卒業。九州大学大学院博士課程を終え学位取得。高校・高専の教師に始まり、九州工業大学・鹿児島大学教育学部・佐賀大学文化教育学部・別府大学文学部で日本文学を講じてきた。俳諧が近代へ向かって変わっていく姿をさぐり、『蕉風復興運動と蕪村』（岩波書店、2000年）などを著し、隠れた立役者だった蝶夢の事業を『蝶夢全集』（和泉書院、2013年）にまとめた。現在、その続編を編纂中。芭蕉・去来にかかわる遺跡、義仲寺・落柿舎の保存会の役員を務める。

出典：

朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾ホームページより

<https://www.asahiculture.jp/course/fukuoka/c753399c-0185-111d-2fbd-5da3ec49b1eb>

※田中道雄先生は、朝日カルチャーセンター 朝日JTB・交流文化塾の佐賀出張講座の講師を勤められています。

1. 郷土史を学ぼう会について

主催：島原図書館

日時：毎月第4土曜日（ただし12月は第3土曜日、3月は第2土曜日）、午後2時開会

内容：さまざまな講師による郷土史にまつわる講義と松平文庫所蔵資料の解説の2部構成で、毎月1回、島原図書館において開催されている。また、年に1回、市民文化講座と共催で講座を実施。

2. 市民文化講座について

主催：島原市教育委員会・島原文化連盟

日時：年に数回実施

概要：市内外の著名な講師による無料の講座。文化に対する教養の向上、興味関心を高めるために実施している。また、年に1度、郷土史を学ぼう会と共催で講座を実施。

実績：近年の実績は下記のとおり。

回数	日時	演題	講師	人数	会場
208	H27.6.7	勝海舟の家系に生まれて－歴史を受け継ぐ者の覚悟－	高山みなこ	122	島原文化会館 中ホール
209	H27.8.29	松平家と「長崎御用」	松尾晋一（長崎県立大学）	63	森岳公民館 大ホール
210	H28.6.21	能・狂言の魅力	馬野正基（親世流能楽師） 野村万禄（和泉流狂言師）	72	森岳公民館 大ホール
211	H28.8.27	歴史から学ぶ防災－「熊本地震」から見つめなおす－	鳥津亮二（八代市立博物館）	53	森岳公民館 大ホール
212	H29.8.26	近世における歴史資料の伝来と社会 －大名家文書、地域文書、江戸時代の対外関係から－	稲葉継陽（熊本大学）	54	森岳公民館 大ホール
213	H30.7.21	有明海の戦国時代	堀本 一繁（福岡市博物館 学芸課主査）	72	森岳公民館 大ホール
214	R1.9.16	明治新政府と丸山作樂	三ツ松誠（佐賀大学）	68	森岳公民館 大ホール